

ISO/TC 8/SC 26(スマート SHIPPING) 担当分

議長: Mr Yanqing Li(中国)、幹事国: 中国SAC

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC26	ISO 4891:2024	Ships and marine technology — Interoperability of smart applications for ships	船舶及び海洋技術—船舶用スマートアプリケーションの相互運用性	この規格は、スマートアプリケーションの操作上の必要要件及び性能要件を取り纏めたもの【ドイツ主導】。 この規格で定めるスマートアプリケーションは、人間(ヒューマンマシンインターフェイス/スマートフォン)、IOT/センサー、及び第三者システムを通じて、書類提出、プロセス管理、接続、及びデータ収集に適用でき、ISO 21745「電子ログブッカー技術仕様及び操作上の必要要件」(パナマが主導の形をとりつつ、実質日本が作成したISO規格)を補足する規格でもあるとしている。 2020年9月開催のISO/TC8/SC6/WG18会議での審議の結果、この提案でのスマートログブックとは、モバイル又は固定機器(データサーバー)で電子ログブックデータと双方向でデータのやり取りができるほか、船内機器からも情報収集が可能で(機器→スマートログブックの一方)、収集したデータを船橋又は陸上に取組みであることが分かった。 2021年9月14日の国際会議の結果、TC8/SC6からTC8へ移管することになり、TC8およびTC8/SC6において、2021年11月9日を締切とした移管に向けた投票が実施され、TC8への移管が承認された。その後、ISO/TC 8/SC 26設置に伴い、SC26へ移管された。	2024.11	—
SC26	ISO 15849:2001	Ships and marine technology -- Guidelines for implementation of a fleet management system network	船舶及び海洋技術—フリートマネジメントシステムネットワークの実施のための指針	船主及びフリートマネジメントシステム(FMS)ネットワーク・コンピュータ・サービスの運用者に、その選定と実施についての概要と、実施の際の指針について取り纏めたもの。この規格には次のものが含まれている。 a)広域ネットワーク、データ伝送サービス及び共通のデータベース設備を含む、一般的インフラストラクチャーに関する指針 b)アプリケーションプログラムへのサービスを含む、船上設備に関する指針	2001.11.01	JIS F 0075:2003 (IDT)
SC26	ISO 15849:2001/Amd 1:2003	同上	ISO 15849:2001 追補1:2003	ISO 15849に規定されているSITP(Ship Information Technology Platform)及びLITP(Land-based Information Platform)に適用される場合のアプリケーション・プログラム・インターフェースの設計仕様書の例を附属書Aとして追加したもの。	2003.09.01	同上
SC26	ISO/DIS 18131	Ships and marine technology — General requirements for publish-subscribe architecture on ship-shore data communication	船舶及び海洋技術—パブリッシュ・サブスクライブ方式の船陸間同期通信の一般要件	この文書は、船陸間データ通信におけるパブリッシュ/サブスクライブ方式に関する要件を取り纏めており、造船業界、海運会社、機器メーカー、港湾および陸上サービスプロバイダーなどの利害関係者がパブリッシュ/サブスクライブ方式で船陸間通信を行うことを目的としている。【韓国主導】 この文書では以下を取り纏めている。 — ブローカー、パブリッシャー、サブスクライバーの役割の定義 — クラウド環境におけるマルチテナンシーベースのデータ管理システムの定義 — パブリッシュ・サブスクライブ方式の一般要件 — データの機密性、完全性、可用性を確保するためのセキュリティ要件 — データの命名規則とデータ構造の設定	DIS投票承認 2024.10.08	—

SC26	ISO 23807:2023	Ships and marine technology — General requirements for the asynchronous ship-shore data communication	船舶及び海洋技術－非同期の船陸 間データ伝送の一般要件	ISO 19847で定める船内データサーバー等で収集した船上搭載機器及びシステムからのデータを、非同期で陸側と通信、共有するための要件(機能要件等)を取り纏めたもの【日本主導】。 この規格は、船上データサーバーから陸上データサーバーへの船舶間データ通信に関する以下の要件を取り纏めている。 <ul style="list-style-type: none"> •エンドツーエンドの通信品質を測定する方法 •非同期および同期通信 •トランスポートの整合性 •トランスポートセキュリティ(暗号化、認証、承認など) •データ送信の管理(優先順位付け、ログ記録、通信事業者の認識/管理など) •通信の最適化(重複排除、圧縮、再開、多重化など) •ISO 19847を含むがこれに限定されないデータ通信プロトコルへの準拠 また、この文書は以下をカバーしていない。 <ul style="list-style-type: none"> •データプロデューサー/コンシューマーのセキュリティ(ID管理など) •通信機器の要件 •帯域幅や遅延などの性能要件 	2023.03	-
SC26	ISO/TS 23860:2022	Ships and marine technology -- Vocabulary related to autonomous ship systems	船舶及び海洋技術－自律船舶シス テムに関する用語	この規格は、自動化システム自体及びその分類を含む、自動運航船(MASS)の自動化システムの運航過程に関連して、MASSの概念を記述するための専門用語を定義したもの【ノルウェー主導】。 この規格の開発情報をIMOに報告するため、ISOはIMO/MSC 101、102および103へISOとして文書を提出している。	2022.05	-